

# 教育活動

## 1 教育活動概要

「共通教育科目」は、デザインと看護の両学部共通とし、両学部に通ずる「人間重視」の考え方を基本に、両学部の学生が一緒に学習することにより、学部間の交流を深め、異なる分野を志す学生が互いの発想に触れ、広い視野を持つことができるよう体系化した。また、「共通教育科目」は、①大学における心構えや履修方法、あるいは基本的な学習の進め方や研究方法を学ぶ「導入科目」、②文化や人間、社会に対する理解を目的とする「教養科目」、③語学などのコミュニケーション・ツールの習得を目的とする「コミュニケーション科目」の3つの区分で構成した。

デザイン学部の「専門教育科目」は、デザインの基礎的な理論や技術から、より専門性の高い知識や技術、実践的・発展的な知識やデザインの方法までを体系的に理解できるよう、①「基本科目」、②「展開科目」、③「発展科目」の3つの科目群で構成した。また、デザインの基礎となる分野や学生のレベルに合わせて必要と思われる分野について、造形基礎実習補講、マッキントッシュ講習会、工房安全講習会を実施した。

看護学部の「専門教育科目」は、専門知識と高度な技術を系統的に学習できるよう、①専門科目を学ぶ前提や基礎となる「専門基礎科目」と、②看護の専門的知識・技術を学ぶ「専門科目」の2つの科目群で構成した。看護学実習は、さまざまな場で生活する人の健康レベル、あらゆる発達段階における人々に対して、それまでに学んだ理論や知識、技術を実践し、実際のかかわりを通して、総合的な看護実践能力を養うことを目的とし、看護職や関連職種の活動を見学体験する看護初期実習を前期に、入院患者の生活を看護の視点で観察し、看護の働きかけを体験的に学ぶ、基礎看護学臨地実習Ⅰを後期に実施した。

また、看護学部における実習の位置付けの理解を得るため、主たる実習施設である市立札幌病院看護部を対象とした実習指導者会議と、全実習施設を対象とした臨地実習指導者会議を開催した。

デザイン学部の教員を対象に、空間、製品、コンテンツ、メディアの4コースの関連性や専門分野全体の理解を促すため、教員紹介ミニ講座としてコース別にプレゼンテーションを実施した。

また、看護学部の教員を対象に、カリキュラムの体系性等を理解するため、学部長による大学及び看護学部の教育研究上の理念等と教育課程の構成に係る概要の説明を行うとともに、領域別のカリキュラムの概要と、領域の構築に向けたプレゼンテーションを行った。また、より実践的な看護職を育成するために客観的臨床能力試験（OSCE）の導入に係る研修を行い、さらに、看護学部の各領域の基盤となる基礎看護の科目展開について研修を実施した。